

平塚市 企業版ふるさと納税制度を 活用した取組のご紹介

第2期平塚市まち・ひと・しごと創生推進事業

p.2~5

- 1 子どもを育む環境づくり事業
- 2 活気あふれる産業づくり事業
- 3 高齢者の想いに寄り添う環境づくり事業
- 4 安心・安全で快適なまちづくり事業

注目事業はこちら①②③

①知的対流推進事業

p.6~10

(産業振興部 産業振興課)



②平塚駅周辺地区 活性化推進事業

p.11~18

(都市整備部 都市整備課)



③路線バス運行 維持支援事業事業

p.19~23

(まちづくり政策部 交通政策課)



1 子どもを育む環境づくり事業



1 希望する結婚・妊娠・出産がかなう

- ▶ 若い世代への奨学金返済支援
- ▶ 必要な技術や資格取得に向けた支援
- ▶ 働きながら子育てができる環境づくり など

2 子育てにゆとりが持てる

- ▶ 男性の育児休業取得のための総合支援策の推進
- ▶ 産後の不安に寄り添う支援
- ▶ 柔軟な働き方による子育て時間の確保 など

3 子どもが希望を持って成長する

- ▶ 子どもの可能性を引き出す個別最適で協働的な学びの充実
- ▶ 悩みや課題を抱える子どもに寄り添う相談・支援体制の強化
- ▶ ICTを活用した多様な子どもたちに寄り添った学びの保障 など



2 活気あふれる産業づくり事業



1 技術力・競争力を向上する

- ▶ 施設・設備の整備に対する支援
- ▶ あらゆる産業のスマート化への支援
- ▶ 産業間や、企業・大学・行政の連携の強化 など

2 担い手の育成・確保を支援する

- ▶ 新たな担い手の確保への支援
- ▶ 働き方改革に取り組む企業への支援
- ▶ リスキリングの促進 など

3 経済環境の変化に適応する

- ▶ 円滑な創業・事業承継の促進
- ▶ 産業の活性化に向けたデジタル技術の活用
- ▶ 中小企業の相談対応や、課題解決の支援 など



3 高齢者の想いに寄り添う環境づくり事業



1 健康で元気に活躍する

- ▶ 高齢者の多様な就業機会の確保
- ▶ 知識、経験を活かす機会の創出
- ▶ 趣味や学びなどを通じた交流機会の創出 など

2 住み慣れた地域の暮らしを支援する

- ▶ 医療・介護関係者間における情報共有の支援
- ▶ 介護人材の確保に向けた支援やスマート介護の推進
- ▶ 認知症の早期発見・早期対応 など

3 権利擁護を推進する

- ▶ 高齢者虐待の防止
- ▶ 自分らしい人生の締めくくりに向けた支援
- ▶ 孤立しないための見守り支援 など



4 安心・安全で快適なまちづくり事業



1 防災・減災対策を強化する

- ▶ 防災教育の推進
- ▶ 避難体制の確保に向けた支援
- ▶ 橋りょうや下水道における耐震化の推進 など

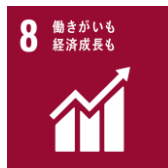
2 生活拠点づくりを推進する

- ▶ 地域特性を踏まえた生活利便施設の誘導
- ▶ 平塚駅周辺地区における多機能化の促進
- ▶ 魅力ある店舗づくりや商店街づくりの支援 など

3 暮らしを支えるネットワークを充実する

- ▶ 持続可能な公共交通の確保
- ▶ 重層的支援体制の整備
- ▶ 地域課題の解決を図る機会の創出 など





平塚市企業版ふるさと納税募集事業①

平塚市産業振興部産業振興課

① 知的対流推進事業

産学公等連携で目指す！

社会課題の解決・産業振興の推進



東京大学生産技術研究所との連携協定に基づく
海洋再生可能エネルギー研究開発に関する支援 他

知的対流推進事業とは

社会課題の解決や産業振興を目的に取り組む最先端の技術開発や実証プロジェクトの民間事業者等を誘致し、それらに市内企業が触れる機会を創出し、時代の変化に対応していくための土壌づくりを目指しています。

この事業のうち『波力発電等海洋活用技術の研究開発』『海藻類育成 海の肥料施肥』の企業版ふるさと納税によるご支援をお願いしています。



波力発電等海洋活用技術の研究開発

主体：東京大学生産技術研究所、平塚海洋エネルギー研究会



脱炭素技術として有望な波力発電等の海洋活用技術の研究開発と人材育成のプロジェクト。

新産業創出、海洋活用技術の研究開発拠点化に寄与。

海藻類育成 海の肥料施肥

主体：工学院大学、平塚市漁業協同組合、(株)不動テトラ



ひらつかタマ三郎漁港をフィールドとした海藻類育成の実証実験。

工学院大学の金熙濬教授が開発した海の肥料施肥で安定した海藻類育成を促進することで藻場形成やそれによるブルーカーボンの蓄積に繋がり、地球温暖化対策にも寄与。



平塚市の当事業に 寄附を決定した理由は？

- 当社が目指す**サステナビリティ方針**と、（東大の研究内容である）波力発電実証実験との親和性が（取組目的や進め方など複数観点から）高いと考えました
- **カーボンニュートラル**に資するもので、**地域性の高い**取組（海のある平塚市×東大の海洋再生可能エネルギー研究開発）だったため
- 波力発電の**今後の可能性**を評価しました
- **独自性の高い取組である**ことが魅力的に映りました



平塚市の当事業に寄附をして よかったことは？

- 当社では実現できない再生可能エネルギーに資する取組を、**企業版ふるさと納税**というかたちで支援できたことがよかった
- まだ普及していない「波力発電」の研究開発への寄附は、「**将来への投資**」という意味で、非常に意義のあるものだったと考えています
- **従業員に再生可能エネルギーを意識してもらうきっかけ**になりました



LINEやフー(株)



(株)ウィルプラス
ホールディングス

企業
PR

SDGs
ESG

新規ビジ
ネス展開

経営
事業拡大

知的対流推進事業に

ご支援・ご賛同をお願いいたします

連絡先

平塚市産業振興部産業振興課

☎ 0463-21-9758

✉ sangyo-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

HP https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page33_00163.html



お気軽に
お問い合わせ
ください♪

8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



p.11

平塚市企業版ふるさと納税募集事業②

平塚市都市整備部都市整備課

平塚駅周辺地区の活性化に向けた地域主体のまちづくりの支援

②平塚駅周辺地区活性化推進事業



背景

商店街を取り巻く 環境の変化

インターネットの普及
新しい商業施設の出店

賑わいの低下

歩行者通行量の減少
小売り業の減少

地域主体のまちづくり

各商店会の活動
平塚まちなか活性化隊
の活動



平塚駅周辺地区将来構想

にぎわいが失われつつある状況に対応し、
持続可能なまちづくりを実現するため令和
7年3月に策定

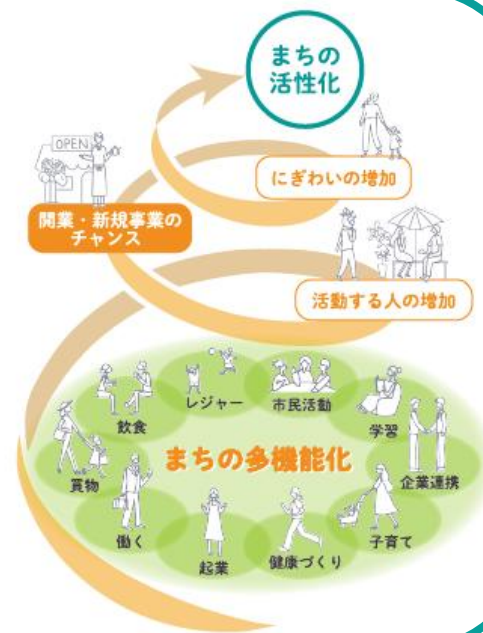
概ね20年後を目指し、まちづくりの方
向性や実現手法を示している



目的

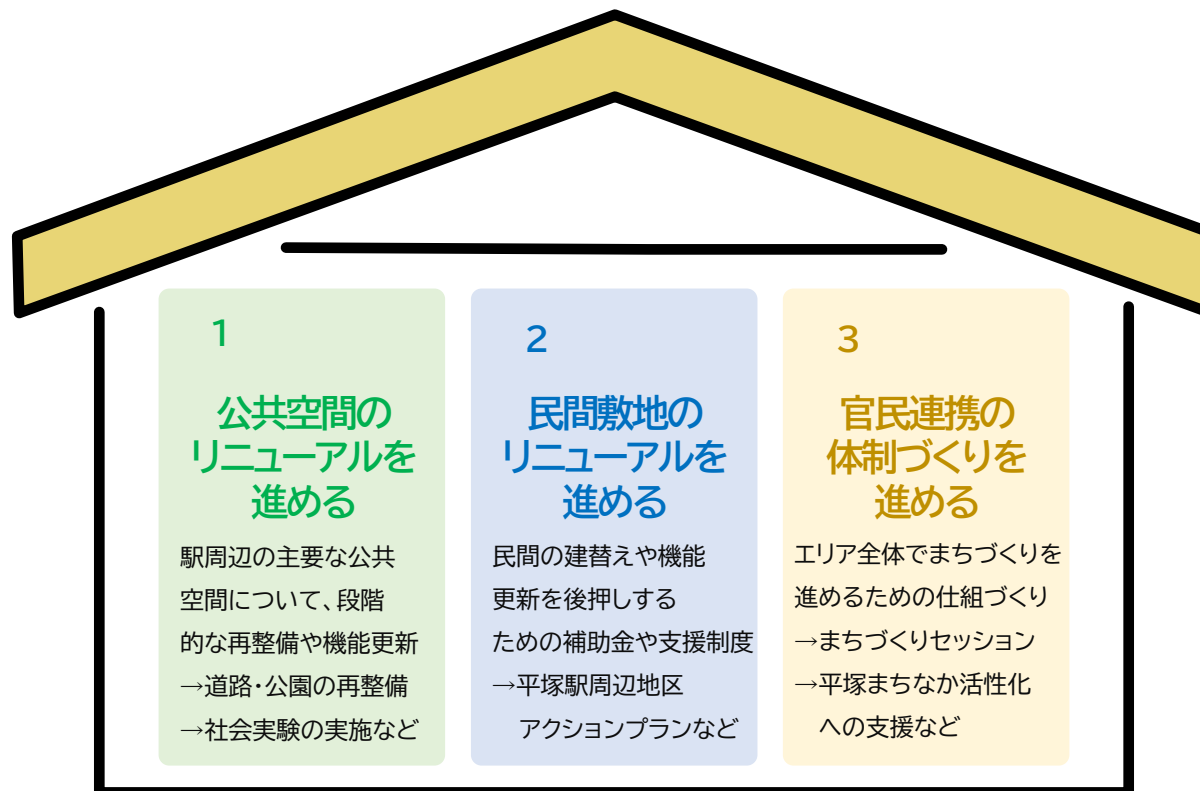
将来構想を実現す
ることでもちが多
機能化し、まちの
活性化が図られる
ことで、様々な目
的に合わせて過ご
せる

「リビング」の
ようなまちへ



目的：平塚駅周辺地区の活性化や持続可能なまちづくりの実現

事業内容：将来構想の実現に向け、屋台骨となる「3つの柱」の取組を一体的に捉え、連携させながら事業を進めています。



代表的な事業① 道路・公園の整備に向けた取組 社会実験

将来構想に位置づけた「通り・エリアのイメージ」を実現するための道路や公園での社会実験実施しています。結果は、今後の整備に反映させます。

◆将来構想での通りのイメージ

豊かで楽しい時間を過ごせる
みんなのメインストリート



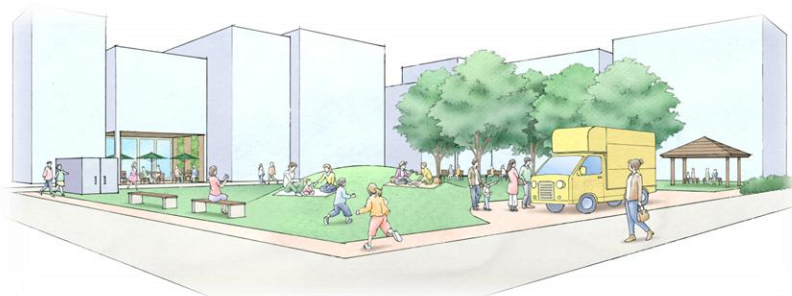
社会実験では、将来構想のイメージに合わせた什器の配置やキッチンカー、店舗と公共空間の一体的な活用などを検証しました。

◆社会実験の様子（道路）



◆将来構想での公園のイメージ

安全で快適に過ごし
集い、交流できる公園・広場



◆社会実験の様子（公園）



平塚まちなか活性化隊への支援

地域主体のまちづくりの推進を目的に、若手商業者を中心とした団体「平塚まちなか活性化隊」(通称：まち活)への支援を行っています。

◆平塚まちなか活性化隊



まち活の主な活動

まちなかベース 「きちきち」の 開設・運営



◆多様な人の活動拠点、自由に滞留できる場所、チャレンジの場となる**コミュニティハブ**として開設、交流の場やチャレンジショップなど様々な用途で活用

出店支援



◆「きちきち」を**チャレンジショップ**として活用した商業者が、商店街で**新規出店**。オープンに向けたサポート（工事や広告の相談、内装の珪藻土塗りの手伝いなど）を実施

イベントによる 商店街の 魅力・情報の発信

◆イベントにあわせて**商店街の魅力を発信**、イベント会場に店舗紹介を掲示等することで、来場者が商店街の店舗を知る契機とする

公共空間を 活用した 滞留スペースの 設置

◆道路等に人工芝やテーブル、イスを設置し、滞留スペースを作る**社会実験**を実施、結果を検証し、今後の**まちなかの整備等の検討材料**として活用

商店街や 通りごとの まちづくり ビジョンづくり



◆通りごとに**進めたいまちづくりの内容**を設定したまちづくりのビジョン作成の推進、什器の設置による通りの雰囲気づくりを実施

情報発信・ PR活動



◆まち活のHPやSNS、チラシにより「きちきち」のイベントやまちなかの店舗の情報を発信、平塚駅周辺のホテルに食事場所の案内チラシを配架

◆概ね20年後に向けた新しいまちづくりへの関わり

◆まちなかや「きちきち」を活用したイベントの実施

▶ **チャレンジの場・事業展開の場として活用**

◆商業者、学生、他の事業者など、様々な主体・地域の
ステークホルダーと交流・連携

▶ **新たな事業展開の可能性・ビジネスチャンスの創出**

◆地域とともに活動することで企業の理解を得る機会

▶ **企業のPR**

◆地域とともに課題達成へ取り組む

▶ **地域貢献・企業イメージの向上**

〔事例〕 寄附をきっかけとした地域主体の活動への参加

平塚信用金庫様

※信金中央金庫様からの寄附をきっかけに連携

◆まちなかベース「きちきち」にて、顧客の商品のブラッシュアップ・マーケティング・販路拡大を目的として開催

◆当日は約300人が来場。このほかにも、まち活と共催で「きちきち」を使用してマルシェ等を開催し、出店者からも好評を得て継続的に取組を実施



「圏央道の宝物グランプリ販売会IN平塚」

日本たばこ産業株式会社様

◆多様な事業者や団体に参加を呼びかけ、地域貢献や環境問題を共通ワードに、最終的には地域改善や各種事業へ結びつけることを期待し、ワークショップを開催

◆参加者からは、異業種交流ができた、社会課題がビジネスチャンスにつながり得ることを実感できた等のコメント



「ゴミ問題の“今を知る”」

ご寄附いただいた場合は…

- ◆感謝状の送付
- ◆ホームページ掲載



企業様をPRさせていただきます

平塚駅周辺地区の活性化

持続可能なまちづくりの実現

に向けた

地域主体のまちづくりや**エリアマネジメント**などに

ご興味を持っていた企業の皆様

寄附だけでなく、本事業へのご提案・ご相談大歓迎です！

平塚まちなか活性化隊

HP



Instagram



将来構想実現に関する取組は
「みんなのリビングDAYS」
で紹介しています！



連絡先

平塚市都市整備部都市整備課駅周辺地区整備担当

☎ 0463-21-8783

✉ machi-j@city.hiratsuka.kanagawa.jp

HP https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/machizukuri/page54_00052.html

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナシップで
目標を達成しよう



p.19

平塚市企業版ふるさと納税募集事業③

平塚市まちづくり政策部交通政策課

平塚駅周辺地区の活性化に向けた地域主体のまちづくりの支援

③路線バス運行維持支援事業



- 本市はJR平塚駅を唯一の鉄道駅とし、当該駅を中心に、周辺の小田急線駅へ約70路線のバスが運行される等、路線バスは市民生活に欠かせないものとなっています。
- 持続可能な路線バス運行を目指し、様々な施策(バス利用環境の改善による利便性の向上(サイクル&バスライド駐輪場の整備)や環境面と運行経費面の改善支援(電気バス導入補助)等)に取り組んでいます。
- しかし、本市においても運転士不足は大きな課題であり、この解消の一助として、路線バス運行事業者とともに、路線バスの自動運転化に向けた実証実験を進めています。



本市が導入を補助した電気バス



▲「エルガEV 自動運転バス」による実証実験(全国初)



▲地域公共交通のDX推進に係る連携協定締結式の様子
(2024年1月19日)

- 2023年度(令和5年度)に、平塚駅南口の循環路線(平15系統)にて、国産の大型路線バスを用いた実証実験を開始。
- 取組にあたり、路線バス運行事業者である神奈川中央交通株式会社、車両メーカーのいすゞ自動車株式会社をはじめ、自動運転の知見を有する三菱商事株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、A-Drive株式会社と連携協定を締結し、官民が一体となって実証実験を進めています。
- 2027年度(令和9年度)の自動運転レベル4(※)認可取得を目指し、システム面及び運用面で検証を進めています。
(※)自動運転レベル4…特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施

【主な検証項目】

遠隔監視、信号連携、路上駐車自動回避、
日没後の運行、システム判断によるバス停からの
自動発車及びドアの自動開閉、完全キャッシュレス等



【平塚市実証実験の特徴】

- 大型バス車両を用いた既存の営業路線を、そのまま自動運転に置き換える計画で、全国のモデルケースになることを目指しています。2025年度(令和7年度)は、国による**重点支援自治体**に採択されました。
- 将来的には、平塚駅南側全域の路線バスを自動運転バス化し、人的リソースを再配分することで、平塚駅北側の路線バスの維持につなげます。
- 運転士運転による路線と自動運転による路線を棲み分け、バス路線を確保・維持することで、持続可能な路線バス運行に繋げる計画です。
- 2025年度(令和7年度)は、**全国初**となる**国産大型電気バス「エルガEV 自動運転バス」**(JAPAN MOBILITY SHOW 2025で世界初公開)による実証実験を行いました。
- 自動走行率は96.5%に達し、レベル4自動走行の社会実装に向け、着実に歩んでおります。



- 本市の取組は、既存の営業バス路線を、同じサイズ(大型車両)でそのまま自動運転化を目指すのが特徴であり、ノウハウを積み重ねた実装の実現によって、路線バスの廃止・減便等の課題を抱える全国の自治体にとって、課題解決のモデルケースとなるものと自負おり、利用者から多くの期待の声が寄せられています。
- また、路線バス運行事業者、バス製造メーカー、自動運転技術の開発ベンダーが結集して取り組んでおり、国産の自動運転技術普及に向け、注目度が非常に高い取組です。



寄附により…

応援いただいた事業者としてPR

- 👉 市長から感謝状の贈呈
- 👉 ホームページ掲載
- 👉 記者発表プレスリリース など

- 国産自動運転バスの社会実装に向け、検証とフィードバックの積み重ねに多くの費用が必要となっています。皆様のお力をぜひお貸しください。
- 事業について、さらに詳しくご覧になりたい方は、本市ウェブサイトをご覧ください。
(右記の2次元バーコードからアクセスできます)
- 全国の交通課題解消に繋がる事業を皆様と共に…。多くの応援をお待ちしております。

【この事業に関する問合せ先】

平塚市まちづくり政策部交通政策課

電話:0463-21-9840(直通)

メール:kotsu@city.hiratsuka.kanagawa.jp HP:https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/machizukuri/page84_00063.html

